



ぶどう狩り

東浦町の特徴

知多半島北東部に位置する東浦町は東部の低地と中央部、西部の丘陵地からなっており、東には刈谷市、高浜市、西に東海市、知多市、南に半田市、北は大府市に接しています。

交通インフラについては、鉄道は東部にJR武豊線の駅が4駅ある他、西部には名鉄河和線が走っています。道路は東部に国道366号、西部には知多半島道路の東浦知多インターを設け、近隣へのアクセスは非常に良好です。



東浦町長 日高 輝夫

徳川家康の母「於大の方」が生誕した歴史のある地でもあり、豊かな自然も残る東浦でビジネスを展開してみませんか。

■企業立地交付金

町内に工場等を新設する企業に対し、土地及び工場等の家屋に係る固定資産税相当額を3年間交付します。

<認定条件>

次のいずれにも該当するもの

- (1)新設された工場等の土地面積が3,000㎡以上
- (2)新設された工場等の土地及び家屋に係る固定資産税評価額の合計額が1億円以上

<交付金額>

交付期間内の各年度における新設された工場等の土地及び家屋に係る固定資産税相当額

<詳細は町HPをご覧ください>



■企業再投資促進補助金

町内に20年以上立地し、工場等を新増設する企業に対し、最大4億円(大企業及び中堅企業(みなし大企業含む)は2億円)を補助します。

<認定条件>

下記に該当し、愛知県新あい創産業立地補助金に採択されること

●中堅企業(みなし大企業含む)及び中小企業(みなし大企業含む)

→25人以上の常用雇用者を有し、新増設する工場等に係る土地を除く固定資産取得費用が1億円以上

●大企業

→50人以上の常用雇用者を有し、新増設する工場等に係る土地を除く固定資産取得費用が25億円以上

<補助額>

新増設する工場等に係る土地を除く固定資産取得費用の一部

●中小企業：10%以内

●中小企業(みなし大企業)：8%以内

●中堅企業：5%以内

●中堅企業(みなし大企業)：4%以内

●大企業：4%以内

<詳細は町HPをご覧ください>



■先端産業育成交付金

町内に先端産業の工場等を新増設する中小企業者に対し、最大10億円を交付します。

<認定条件>

次のいずれにも該当するもの

- (1)土地を除く固定資産取得費用が2億円以上
- (2)工場等の新増設に伴い新たに雇用される常用従業員が5人以上
- (3)愛知県21世紀高度先端産業立地補助金に採択されること

<交付金額>

新増設された工場等に係る土地を除く固定資産税相当額に2を乗じた額

<詳細は町HPをご覧ください>



■中小企業活性化補助金

町内に本社及び事業所を有する中小企業者等に対し、補助対象事業に係る経費の2分の1を補助します。

<対象事業及び対象経費>

- ・人材確保事業(合同企業説明会小間料、求人広告等掲載料等)
- ・展示会出展事業(見本市、企業展等小間料等)
- ・BCP策定等支援事業(BCP策定のコンサルティング費用、BCPIに基づく対策費等)
- ・健康づくり事業(従業員等に対する健康づくり事業に要する経費等)

<上限額等>

上限額20万円

(1申請につき下限額1万円)

<詳細は町HPをご覧ください>



■武豊町新産業立地促進制度

武豊町内の工業地域、工業専用地域において、工場等を新設又は増設し、操業を開始する事業者の方に対して、所有又は賃貸借契約をしている土地、家屋、償却資産にかかる税を助成します

<対象経費>

課税初年度から3年間における各年度の固定資産税及び都市計画税に相当する額を、各年度の固定資産税及び都市計画税を納付した翌年度に交付。

■武豊町創業支援補助金

町内に主たる事業所等または本店を置く会社を令和9年3月31日までに開設しようとするものを行う創業に必要な初期投資に対して補助金を交付します。(上限額100万円)

<対象経費>

- ・事業所等の借入費(限度額30万円)
- ・法人登記等に係る費用(限度額10万円)
- ・事業所等の改装及び設備費(限度額100万円)
- ・広報費(限度額30万円)

■武豊町中小企業者等応援補助金

武豊町内の中小企業者等が行う新技術及び新事業の創出につながる研究開発等を実施することに対して補助金を交付します。

<対象事業>

- ・設備投資事業
限度額:20万円 対象経費:機械装置等の購入費 等
- ・販路開拓事業
限度額:10万円 対象経費:広報費、出展料 等
- ・人材採用事業
限度額:30万円 対象経費:求人情報の掲載料 等
- ・ふるさと納税返礼品開発事業
限度額:40万円 対象経費:開発研究費 等

※すべての補助対象経費を町内の事業者に発注している場合は補助上限が2倍。

詳細はこちら



武豊町の特徴

武豊町は、知多半島の東側中央部に位置し、鉄道と港に古い歴史があります。JR武豊線は1886年に開通した日本でも歴史ある鉄道です。1899年に開港された武豊港は、後に近隣の港と合わせ西浦港と呼ばれる大きな港となり、知多・西三河地域のものづくりを支える拠点の港となっています。臨海部や工業団地には工業を中心とした産業が集積しています。またみそ・たまりの醸造業は伝統的な地場産業であり、みそ蔵が集まる町並みはおもむきを感じられる場所になっています。



武豊町長 鳥羽 悠史



みそ・たまり醸造業

